

防災女性の会と町内会のコラボ

岡崎市の木造密集市街地と呼ばれている地域で、女性のボウサイまちづくり会議の活動をお手伝いしています。

町内のたくさんの人に防災意識を持っていただこうと思うと、町内会とのコラボは欠かせません。町内会でも、作成した「防災まちづくり方針」を広め、メンテナンスしていくにあたって女性の会とコラボすることはきめ細かな対策が望めます。

☆女性の会の活動は

毎月1回、集まれる人が集まって、災害伝言ダイヤル171を試したり、災害時のトイレの使い方を試してみたり、昨年度女性の会で作成したチラシの配布進捗状況を共有したり、と女性ならではの視点をもって楽しそうに活動していらっしゃいます。

☆町内会の防災訓練で

5つの町に住む女性たちが進めているこの会では、6町合同の防災訓練で、女性の会にスペースをお貸りして日ごろの活動を知って頂くことになりました。

内容は、今まで行ってきた活動のご紹介として、災害で自宅のトイレが使えなくなったときのトイレの使い方と、前出のチラシがどこまで浸透しているのかを確認するアンケートをすることにしました。

しかし、残念なことに当日は台風通過が予測されたため、中止となってしまいました。ところが、10月15日に防災に熱心に取り組んでいらっしゃる総代さん（岡崎市では町内会長のことを総代と呼んでいます）の町内での防災訓練でチャレンジすることになりました。

☆女性の視線と町内会

総代さんとのコラボ会議では、町内全体で進めること（防災マップづくりや狭あい道路の解消など）に焦点が当たっていました。女性の会では、一人一人ができること、各家庭で取り組むことなど、具体的で明日からでもできそうなことが語られていました。



☆第1回めの会議では、お互いの活動が補完し合っていることがわかり、今後はどのようなことでコラボしていけるのか、いけそうかについて話が進みました。それぞれの視点が異なることがコラボする意義があるのだなと感じました。